

豊かなデジタル表現を世界中から募集！

「デジタルえほんアワード 2024」開催決定及び作品募集スタート！

B Lab (iUの研究所、 所長 石戸奈々子。以下、B Lab) は、「デジタルえほんアワード 2024」の作品募集を2024年4月25日(木)より開始しました。

「デジタルえほんアワード」は、こどもたちの新しい遊びと学びを育むデジタル表現「デジタルえほん」の発掘・普及を目的として2012年より国際デジタルえほんフェア実行委員会が主催してきました。これまでに世界34カ国から応募をいただき、国際的なアワードとして成長しています。そして、今回開催される「デジタルえほんアワード 2024」にはB Labも共催として参加し、ますます盛り上がりを見せています。

審査基準は「楽しい!」「見たことがない!」「世界が広がる!」。応募締め切りは2024年7月25日(木)までとなっております。こどもから大人まで応募可能となっておりますので是非ご応募ください。エントリー方法は公式サイト(<http://www.digitalehonaward.net/>)にてご確認ください。



【審査基準】

「たのしい! 見たことがない! 世界が広がる!」
応募方法や詳細については公式HPをご参照ください。
<http://www.digitalehonaward.net/>

【募集締め切り】

2024年7月25日(木)

【結果発表】

10月中旬頃公開予定。
詳細につきましては決定次第、公式サイトにてお知らせいたします。

審査員

いしかわこうじ 絵本作家

角川武蔵野ミュージアム

上條 圭太郎 Whatever(Creative Director / Producer)
/Open Medical Lab COO

川田十夢 AR三兄弟

きむらゆういち 絵本作家

木村祐一 お笑い芸人

季里 女子美術大学アート・デザイン表現学科
メディア表現領域教授

榊原洋一 医学博士・お茶の水女子大学名誉教授

矢部 太郎 (カラテカ) お笑い芸人・漫画家

石戸 奈々子 国際デジタルえほんフェア実行委員長・
CANVAS代表・慶應義塾大学教授

いしかわこうじ

角川武蔵野
ミュージアム

上條 圭太郎



川田十夢



きむらゆういち



木村祐一



季里



榊原洋一



矢部太郎



石戸奈々子

「デジタルえほん」とは？

パソコン、タブレット、スマートフォン、電子書籍、デジタルサイネージ、電子黒板、テレビなど、あらゆるデジタルデバイスを含む、こども向けデジタル表現の総称です。

このほかにも、AI、AR/VR、ブロックチェーン、メタバース、ロボットなどの新しい技術を活用した作品など、こどもたちの新しい表現や遊びを促す作品を幅広く募集しています。

詳細は（ <http://www.digitalehonaward.net/about-2/> ）まで。



賞典

【一般部門】

グランプリ / 準グランプリ / 審査員特別賞

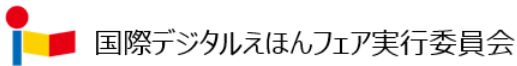
【キッズ部門】

グランプリ / 準グランプリ

などを予定。

推進体制

主催：



共催：



こどものための創造・表現の場を提供し、豊かな発想を養う土壌を育てることを目標に NPO 法人として 2002 年より活動をはじめました。これまで全国で約 3,000 回のワークショップを実施し、およそ 60 万人のこどもたちが参加。産官学さまざまなプレイヤーのみならずと連携しながら「未来をつくる」プロジェクトを生み出しています。2022 年に創立 20 周年を迎えました。

<関連 LINK> <http://canvas.ws/>



Beyond, Borderless, Breakthrough の頭文字をとった「B Lab」は、研究所と銘打ちながら、世界中の大学・研究所、地域、人材をつなぎ、多くの人の得意技や知見を融合させ、新しい技術、サービス、コンテンツ、ビジネス、社会を生み出す参加型プラットフォームです。テクノロジー開発、社会課題解決、新サービス創出などスコープは広いですが、共通項は社会実装で、みんなで作るということ。お父さんもお母さんもおばちゃんも子どももみんな研究員。Lifelong Seeker になり、第 2 の研究員名刺を持ちます。ソーシャルで、オープンで、参加型で、ユーザーふくめ全ての人がつながり新しい社会を構築し、課題、アイデア、技術、おカネ、スキル、人をマッチングさせ、小さな創造から大きな創造までおもしろい未来をみんなで作ることを目指します。

<関連 LINK> <https://www.blaboratory.org/>